

「三鷹市新都市再生ビジョン（仮称）（案）」に係る市民意見への対応について

【凡例】

- ①ビジョンに盛り込みます・・・・・・・・意見を概ね提案どおりに盛り込むもの
- ②ビジョンに趣旨を反映します・・・・・・・・意見の趣旨を方針に反映するもの
- ③対応は困難です・・・・・・・・趣旨の反映を含め方針に盛り込むことが困難なもの
- ④事業実施の中で検討します・・・・・・・・事業実施段階で判断するもの
- ⑤既にビジョンに盛り込まれています・・・・・・・・既に意見が方針に盛り込まれているもの。既に意見の趣旨が方針に反映されているもの
- ⑥その他・・・・・・・・その他の意見など

パブリックコメント提出状況

人数： 6 名
件数： 15 件

※パブリックコメントによる市民意見については、一部抜粋又は意識して掲載しています。

No	該当ページ	該当部分	市民意見 ※	対応	対応の方向性
1	16	5(3) 災害リスクの増大	再生可能エネルギーは環境にやさしい自然エネルギーであり、利用促進を図る必要があります。しかし、自然エネルギーを中心とした再生可能エネルギーは天候等に左右されるエネルギーであるため、災害時のエネルギー源としては、コージェネレーションシステムを含む自立分散型エネルギーの導入についても言及してほしい。	①ビジョンに盛り込みます	近年多発する大規模な自然災害に対し、公共施設における災害対応の課題も多くあります。その一つとして、災害時のエネルギー源の確保があります。集中型エネルギーの途絶対応として、エネルギーの多様化・多重化を図っていく趣旨を反映するため、「再生可能エネルギー設備や自立・分散型エネルギー設備等の導入」を追記しました。
2	16	5(3) 災害リスクの増大	防災拠点機能の強化の記述に賛同します。災害時における業務継続機能を強化し、災害に強いまちづくりを推進するためには、防災拠点機能の強化が重要です。例えば、エネルギー供給途絶対応としては、大規模停電時の災害対応拠点の機能確保と72時間を超える停電に対する備えとして、高効率のコージェネレーションシステムなどの自立分散型エネルギーシステムの導入により、電源の自立化・多重化を行うことが重要と考えます。	⑥その他	計画へのご理解ありがとうございます。災害時における業務継続機能の強化や安全で安心して滞在できる避難所環境等を創出するため、エネルギー供給途絶対応をはじめ防災拠点機能の強化に取り組んでいきます。
3	23	6(1)イ 安全安心で快適に利用ができ、長期使用ができる施設整備	上連雀三丁目暫定集会施設は築25年以上になるが、一度も大規模改修が行われておらず、今の時代に合わない施設となっているため、改修等を行ってほしい。	⑤既にビジョンに盛り込まれています	本計画では、今後の公共施設整備の方向性として、「安全安心で快適に利用ができ、長期使用ができる施設整備」を掲げており、すべての公共施設が安全に施設利用できる状態を継続的に維持していきます。「上連雀三丁目暫定集会施設」については、「優先度評価の考え方」に基づき、「グループIに準じる施設」にグループ化しており、前期間内（令和5（2023）年度～令和17（2035）年度）での建替えを検討しています。なお、当該施設は1995年度に新耐震基準で建築された建物です。
4	23	6(1)イ 安全安心で快適に利用ができ、長期使用ができる施設整備	上連雀三丁目暫定集会施設は老朽化が激しく、耐震設計もされておらず、災害時への安全性が心配であるため、安全安心に使用ができる施設としてほしい。		
5	23	6(1)ア 総合型・融合型の施設づくりによる魅力の向上と維持保全経費の縮減	上連雀三丁目暫定集会施設について、町会へ指定管理を委託することにより、公共施設の「量から質へ」、「作るから使う」が活性化され、効率的な施設として期待できるのではないかと。	④事業実施の中で検討します	本計画では、今後の公共施設整備の方向性として、「総合型・融合型の施設づくりによる魅力の向上と維持保全経費の縮減」を掲げており、サービスの維持や質の向上と効率的な施設整備・管理運営等を目指しています。なお、当該施設につきましては、公共施設として開かれた活用がされるよう適切な管理体制を検討していきます。

No	該当ページ	該当部分	市民意見※	対応の方向性	
6	25	6(1)ウ 質の高い防災・減災のまちづくりに向けた施設整備	災害時のエネルギー問題に関して、自立分散型エネルギーシステムによるエネルギーの確保について言及してほしい。	⑤既にビジョンに盛り込まれていません	本計画では、防災拠点整備の方向性の一つとして、多様な自然災害に対して高い防災性を有し、災害時のエネルギー問題や情報通信技術の進展への対応、安全で安心して滞在できる避難所環境の創出など、質の高い防災拠点の構築を掲げています。具体的な整備については、防災拠点の役割等を踏まえ個別に検討していきます。
7	25	6(1)ウ 質の高い防災・減災のまちづくりに向けた施設整備	災害時にも自宅生活を継続できる環境を整えることで、在宅避難の推進が図れることから、自立発電機付家庭用燃料電池の導入促進に言及してほしい。	⑥その他	本計画では、防災拠点整備の方向性の一つとして、避難所における一人当たりのスペースの拡充など避難所内での感染症対策の推進と、在宅避難の推進及び災害時在宅生活支援施設の充実を図ることとしていますが、防災拠点としての公共施設の整備の方向性として記述しています。自立発電機付家庭用燃料電池の導入促進等の市民の方への在宅避難の推進に関する具体策については、三鷹市地域防災計画などで検討していきます。
8	25	6(1)ウ 質の高い防災・減災のまちづくりに向けた施設整備	上連雀三丁目付近の地域には、災害時の避難・集合施設がないため、仮にこの施設を防災拠点にするとしても、現状のままでは安全性に問題があると思われる。	⑤既にビジョンに盛り込まれていません	本計画では、今後の公共施設整備の方向性として、「分散ネットワーク型の公共施設への再編」を掲げており、日常生活圏内のコミュニティを対象とする施設については、各住区に学校施設及びコミュニティ・センターを地域の核として、それらが連携・融合した施設となるように総合型・融合型の施設づくりを行います。 地域での防災拠点としての機能や交流・集集機能につきましては、日常生活圏内において、最適な配置を検討していきます。 具体的な整備を行う施設については、地域特性や経済性など、それぞれの状況にあわせて検討していきます。 なお、「上連雀三丁目暫定集会施設」については、「優先度評価の考え方」に基づき、「グループⅠに準じる施設」にグループ化しており、前期期間内（令和5（2023）年度～令和17（2035）年度）での建替えを検討しています。
9	26	6(1)エ 分散ネットワーク型の公共施設への再編	「分散ネットワーク型公共施設の再編」を掲げているが、上連雀三丁目付近には公共施設が存在しない。		
10	32	8(2) 優先度評価の考え方	避難施設の有無や周辺公共施設の有無によっても優先度評価の考え方に反映してほしい。		
11	28	施設類型ごとの整備の考え方（社会教育系施設図書館）	施設類型ごとの整備の考え方の図書館の「基本的な方向性」の記述には大規模改修についての記載がないが、三鷹市の図書館の多くは、建築から長期間経過しており、老朽化が目立っている。築30年程度を経過した時点で、大規模改修にあわせて機能の現代化・環境対策等を行い、利用者にとって魅力的な施設として整備してほしい。	①ビジョンに盛り込みます	本計画では、おおむね20年周期で大規模改修を行うこととしています。 また、24ページの改修等の整備水準の記載では、施設改修の際には老朽化した機能の回復に加え、社会的な要求水準の変化への対応についても検討を行い、改修内容を決定していくこととしています。 図書館の基本的な方向性の記述に「大規模改修にあたっては、機能面・環境面のリニューアルも検討し、魅力ある施設となるよう整備していきます。」と追記しました。
12	79	9(2) PDCAサイクルによる維持保全の実践	計画の推進のPDCAの手法として、アセットマネジメントシステム（ISO55001/JISQ55001）の活用をしてはどうか。国際規格を活用することで、意思決定プロセスの客観性、透明性が確保する効果があると考えられる。	④事業実施の中で検討します	本計画の推進にあたっては、PDCAサイクルによる管理を行っていくこととしています。国際規格の認証を得ることで、PDCAの仕組みが確立され、客観性、透明性を確保できるメリットがある一方で、認証のための費用や人材の確保などの問題もあります。費用対効果を踏まえた上で、ご意見の趣旨を取り入れながら、計画の推進体制の検討を行っていきます。

No	該当ページ	該当部分	市民意見※	対応の方向性
13	82	10(1) 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業(約1.5h)	事業予定区域が1.7haから1.5haに変更になったが、幅広く開発を行うことを考えるならば、従来1.7haを残してほしい。	⑥その他 三鷹駅前地区のまちづくりについては、82ページの図のとおり、基本構想対象区域(約17ha)全体で考えていくこととしており、令和4(2022)年度に、三鷹駅前地区のまちづくりに関する今後の方向性を示すものとして、「三鷹駅前地区まちづくり基本構想」の策定を予定しています。なお、三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業(約1.5ha)は、本構想の中で、三鷹駅前地区(約17ha)のまちづくりにおける重点事業の一つに位置付けることとしています。
14	82	10(1) 三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業(約1.5h)	三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業でしろがね通りの拡幅が検討されているが、再開発事業予定区域の部分だけでなく、その先の交差点部分まで拡げるのが望ましい。	⑥その他 令和4(2022)年度に「三鷹駅前地区まちづくり基本構想」の策定を予定しており、本構想に記載した個別の各事業に係る具体的な整備内容については、各事業の実施の段階で検討していきます。また、三鷹駅南口中央通り東地区再開発事業を契機としたしろがね通りに関する整備内容につきましても、今後、具体的な検討を進めていくこととなります。
15		全般	施設の維持管理については、この案で適切だと思うが、「ビジョン」というタイトルである必要はなく、「土地建物維持管理計画」で充分ではないか。「ビジョン」というタイトルをつけるのであれば、50年後、100年後の三鷹を「こういう街にしたい」(例えば、三鷹には映画活動をされている方もいるので、映画を街のテーマとしていきたいなど)という提案を募り、何度も意見を募集した上で練り上げたものとしてほしい。	⑥その他 本計画は、公共施設の維持保全を計画的に進めるために原理・原則となる考え方や方向性を示す計画として策定するものです。今後の公共施設整備の方向性として、今後のまちづくりの方向性を踏まえ、新たな時代にふさわしい魅力的で質の高い施設づくりを目指していくこととしています。個々の取り組みや各事業の実践にあたっては、市民の方々との意見交換会やワークショップを開催するなど、市民意見を聞きながら進めていきます。また、三鷹市では、市の最上位計画として基本構想を定めるとともに、その実現を図るため、基本計画を策定しています。公共施設に限らない三鷹市の将来像につきましては、これらの計画を改定する中で検討を進めていきます。